



令和5年3月31日
九州地方整備局
熊本港湾・空港整備事務所

将来、八代港はどんな港になるの？ 八代港の中長期ビジョンをとりまとめました

○近年、港を取り巻く社会経済情勢は大きく変化してきており、将来的な八代港の在り方についての検討が必要となっています。

○九州地方整備局では、概ね20～30年先を見据えた際に必要と想定される港湾の機能・役割を踏まえ、「八代港の中長期ビジョン」として今後の方針・施策等を取りまとめました。

○八代港は、熊本県の南西部、八代海に注ぐ球磨川の河口に位置し、古くから球磨川を利用した物資輸送、海産物の集散の場として栄え、県南地域の発展に大きな役割を果たしてきました。近年、八代港を取り巻く情勢は大きく変化しており、用地不足や土砂処分場の確保の必要性、ふ頭間アクセスの脆弱性といった課題が将来顕在化する可能性があります。

○こうした背景より、九州地方整備局では、概ね20～30年先を見据えた際に必要と想定される港湾の機能・役割を踏まえ、今後の方針・施策等を整理することを目的として、「八代港の中長期ビジョンに関する検討会」を設置し、令和4年10月より八代港の課題やその対応策について、港湾利用者や行政関係者との議論を進めてきました。

○今般、計3回にわたる検討会での議論を踏まえ、八代港における将来的な課題に対応するための方針・施策等について「八代港の中長期ビジョン」としてとりまとめを行いました。

【添付資料】

- ・別紙1 検討会構成員
- ・別紙2 八代港の中長期ビジョン

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所

副所長

古家（こが）

TEL：0965-37-0211

企画調整課長

小野（おの）

TEL：096-357-0410

八代港の中長期ビジョンに関する検討会

構成員等

(敬称略、順不同)

(構成員)

【企業・団体】

RCL Japan Holdings 合同会社

くまもと県産木材輸出促進協議会(日本製紙木材(株))

ジャパンオイルネットワーク(株)

パシフィックグレーンセンター(株)

八代商工会議所

八代商工会議所工業部会(ヤマハ熊本プロダクツ(株))

八代港運協会(松木運輸(株))

【行政】

熊本県 土木部 河川港湾局 港湾課

八代市 経済文化交流部 商工・港湾振興課

九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所

(事務局)

九州地方整備局 熊本港湾・空港整備事務所

港湾空港部 港湾計画課

1. はじめに

九州地方整備局では、八代港において、概ね20～30年先を見据え、今後必要と想定される港湾の機能・役割に対応するための方針・施策等を整理することを目的として、港湾利用者や行政関係者等による議論を踏まえ「八代港の中長期ビジョン」をとりまとめた。（今回の中長期ビジョンにおいて、現況、課題、役割と取組の方向性、取組方策、広域的なゾーニングまでの整理を行った。）

2. 現況

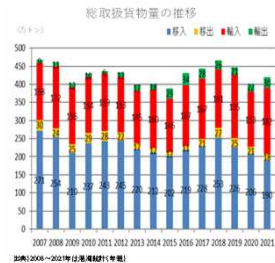
九州西部の中央部に位置する八代港は、東アジアに近接し、陸上交通網の結節点に位置するといった地理的優位性を有し、九州の中南部地域に立地する企業や様々な産業の物流拠点として重要な役割を果たしている。また、令和2年3月にはクルーズ専用岸壁が完成し、九州中央の大型クルーズ船の受入拠点としての役割も期待されている。



八代港航空写真 (令和3年3月17日撮影)

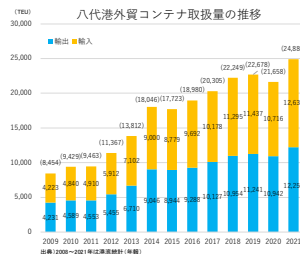
<地域の現況>

- 八代市の人口は、122,483人（令和5年1月現在）。1980年以降減少傾向にある。
- 就業人口も減少傾向であり、第3次産業の割合が増加している。（「医療、福祉業」、「卸売業、小売業」の就業人口が多く、次いで「製造業」、「農業」）
- 農産品は、生産量日本一のトマトやい草をはじめ、キャベツ等の露地野菜、晚白柚等の果樹、生姜や茶など海岸部から山間部にかけて様々な農作物を生産。
- 主な立地企業は日本製紙㈱八代工場、㈱興人八代工場（食品フィルム）、メルシャン㈱八代工場、YKK AP㈱九州事業所（アルミ建材）、ヤマハ熊本プロダクツ㈱（船外機）。



<港湾取扱貨物>

- 総取扱貨物量：420万トン（2021速報値）
- 輸出では、原木、金属くず、鋼材等の取り扱いが多く、輸入では、製紙業向けの木材チップ、畜産用の飼料として使用されるところも、石炭が多い。
- 内貿：移入では、背後に立地している関連産業向けのセメント、砂利・砂、石油製品等が多い。
- 外貿コンテナ取扱量は、2012年以降着実に増加しており、2017年に初めて2万TEUを突破。2021年には過去最高の24,886TEU（速報値）を記録。



4. 目標と取組の方向性

目標	取組の方向性
A. 背後圏企業の効率的なサプライチェーンを支える八代港	① 背後圏企業の国際競争力の強化やサプライチェーンの強靱化を実現するための、港湾機能の高度化及びその周辺環境整備を図る。
B. 経済の活性化に貢献する八代港	② 「くまもと県南フードバレー構想」に基づいた農林水産品輸出の拡大を図る。
C. 観光関連産業の振興に貢献する八代港	③ 港湾の利便性を向上することにより、取扱貨物量の増大、荷主等に選択される港づくりを目指す。
D. 地域の脱炭素化に貢献する八代港	④ 「くまモンポート八代」を基点とした広域観光ネットワークの形成と観光機能の充実により、地域住民も訪れる賑わい空間の形成とインバウンド誘致の強化を図る。
E. 防災力の向上に貢献する八代港	⑤ カーボンニュートラルポートの形成に向けた具体施策の推進を図る。
	⑥ 大規模災害時の応急対策や復旧等に迅速に対応できるよう防災・減災対策の強化を図る。

3. 課題

(1) 物流・産業に関する課題

- 将来的な人口減少、労働者不足
- 航路の水深不足
- 他港への貨物流出
- 貯蔵・荷積み用地、原木置場の用地不足
- 企業誘致空間の不足
- ふ頭間アクセス強化
- 浚渫土砂の処分場所の不足
- 物流手続きの電子化（現状、メール・FAX等）
- 熊本県南農林水産品輸出の拡大

(2) 人流・賑わいに関する課題

- 広域道路ネットワークの充実と港からの接続
- 新型コロナウイルス感染拡大によるクルーズ船寄港数への影響（中国からの旅行者が大きなターゲットだが、現状先行きが不透明）
- 新八代駅、八代駅からの交通手段不足

(3) 環境・エネルギーに関する課題

- 脱炭素化に向けた経済社会構造の抜本的な変革への対応
- エネルギー転換による企業活動・港湾施設利用状況の変化への対応
- 企業活動による発生資材の有効活用策の検討

(4) 防災・減災に関する課題

- 大規模地震発生時の対応
- 台風による高潮・高波災害、風水害等の激甚化・多頻度化への対応（気候変動）
- 港湾貨物輸送のための道路被害（損傷・冠水等）の懸念

5. 取組方策・広域的なゾーニング

取組方策 ②-(1)	○ 国内外への農林水産品輸出拡大に向けた助成事業の実施、定温・低温物流拠点施設の利用促進及び地域内生産物のブランド化・高付加価値化
取組方策 ④-(2)	○ 背後圏の観光拠点へのアクセス時間の短縮を図るための公共交通機関の充実及び広域交通ネットワークへの接続強化
取組方策 ①-(4)	【外港地区、加賀島地区】 ○ 機能再編後の利用状況を踏まえた、ふ頭間アクセス道路（外港地区と加賀島地区間を繋ぐ臨港道路）の整備推進及び背後の広域交通ネットワークとの接続強化
取組方策 ⑤-(1)	○ 港湾施設や船舶の脱炭素化、再生可能エネルギーの利用拡大、次世代エネルギー（水素・燃料アンモニア等）への転換等に向けた取組
取組方策 ③-(1)	○ 八代港の取扱貨物量の拡大に向けたポートセールス（集荷活動）及び臨海部における企業誘致空間の確保
取組方策 ①-(3)	○ 計画的な浚渫による安定した水深の維持へ向けた、長期的な浚渫土砂処分場の確保とその利活用
取組方策 ①-(5)	○ 増大する輸出木材需要や新規企業誘致に対応するための、ふ頭内の再編によるスペースの確保と物流機能強化に向けた再配置、将来的な港の拡張
取組方策 ①-(2)	【外港地区】 ○ ヤード拡張や荷役方式の効率化、情報通信技術を活用したシステムの導入等によるコンテナターミナルの機能強化
取組方策 ①-(1)	【外港地区、加賀島地区】 ○ 大型船に対応した水深を有する岸壁・航路・泊地の整備推進
取組方策 ④-(1)	○ クルーズターミナルの機能拡充や県南・天草地域との連携体制構築による「みなとオアシス八代」の推進
取組方策 ⑥-(1)	○ 災害時の物資輸送拠点の整備や高潮対策の実施、予防保全型の維持管理等による防災・減災対策の推進
取組方策 ⑥-(2)	○ 港湾BCPの継続的改善や航路啓開等の港湾機能回復の実施体制の強化による大規模災害時の港湾機能の維持・早期回復に向けた取組